

人生100年時代のプラットフォームハウス構想

社会課題の解決を使命として業界をリードしていく

「人生100年時代」といわれる中、積水ハウスは次の30年を見据えて、「家」を幸せのプラットフォームにしたいと考えました。住みやすさの定義は、時代や住まい手のライフステージとともに変化します。「人生100年時代」を迎える昨今、土地や建物などの有形資産だけでなく、家族や健康、スキル、知識といった無形資産が重視されるようになることが予想されます。そして住まいも、こうした時代の変遷に合わせて変わっていかねばなりません。そこで積水ハウスは、人生100年時代におけるお客様の「幸せ」をアシストしながら、無形資産を生み出し続ける「家」を提供していくことを戦略として策定し、これを「プラットフォームハウス構想」と名づけました。

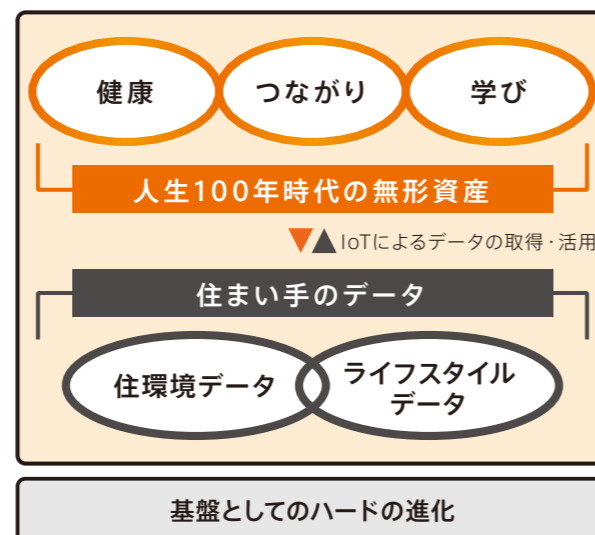
「家が健康をつくり出す」

新たな住まいの価値提供に取り組む

「『わが家』を世界一幸せな場所にする」というグローバルビジョンのもと、「家」を起点に積水ハウスの事業領域を住まい手の生活サービスにまで拡大することで、人生100年時代の幸せをアシストする役割を果たすことを目指していく、積水ハウスの「プラットフォームハウス構想」。「健康」「つながり」「学び」という3つのテーマで、「住まい手の生活サービスを長期にわたりアシストする」積水ハウス独自の家づくりです。第1弾のテーマは「健康」。「健康」をサポートするサービスは、積水ハウスがいち早く取り組むべき社会的使命であると考えます。

例えば、日本での脳卒中の発症者数の79%は家で発症、脳卒中による家での死亡者は約1万5,000人に上ります。さらに、心筋梗塞の年間発症数のうち家での発症66%、浴槽などでの溺死者数年間5,000人以上、転倒・転落による死者年間3,000人など、多数発生しています。一方、交通事故での死亡者数は、エアバッグの普及や技術革新により、年間4,000人程度まで低減したといわれ、「家」で発症する急性疾患や事故がいかに多いかがわかります。このように「家」で発症する疾患を「早期

プラットフォームハウスの概念図



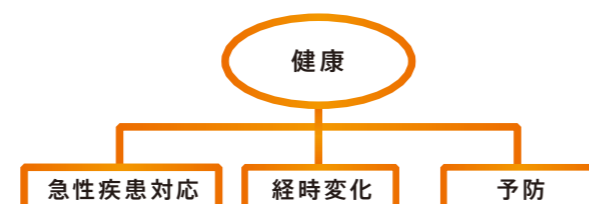
発見し、早期治療につなげる「プラットフォームハウス」の必要性は高く、その効果は大きいと考えます。この「急性疾患対応」に加え、「経時変化」、「予防」の3つのサービスを提供するしていくことで、積水ハウスは「家が健康をつくり出す」という新たな住まいの価値を提供します。

先進技術によるイノベーション

積水ハウスはパートナー企業・大学などとともに、重点的に取り組んできた「急性疾患」への早期対応サービス「在宅時急性疾患早期対応ネットワーク HED-Net」を構築しました。世界初のサービスとして2020年内を目途に人の暮らしに寄り添った環境での「生活者参加型パイロットプロジェクト」による社会実装を開始します。

このシステムは、室内に設置した非接触型センサーが

健康を因数分解してサービスを提供



米国ラスベガスで開催されたデジタル技術見本市「CES 2020」に出展

住まい手の心拍数・呼吸数を検知・解析。異常を検知した際は、緊急通報センターへ連絡、安否確認します。必要な場合、救急隊に出動要請を行い、救急隊の到着を確認して玄関ドアの遠隔開錠・施錠までを一貫して行う世界初のプログラムです。最大の特徴は、先進技術をどう活用するかと同時に、先進技術のために住まい手の快適な生活を犠牲にすることなく、今まで通りの生活をしていただくことにこだわり、住まい手にストレスをかけない検知・解析を目指すため、「非接触型センサー」を選択していることです。家の中の動きには、就寝中の寝返りや部屋からの移動など、さまざまな動きが発生します。そこで独自のアルゴリズム開発に注力し開発を続けています。

住まいが中心となり、工学・医学の連携、また、産学が一つになった、ほかにはない取り組みでの先進技術によるオープンイノベーションです。

「プラットフォームハウス」のさらなる進化を目指す

今後、積水ハウスは「HED-Net」を起点にさらなる「プラットフォームハウス」の研究開発を進めていきます。例

えば、「寝室」では睡眠中の呼吸などのデータから無呼吸症候群の検知ができる、「洗面所」では鏡に設置したセンサーを使用して高血圧などを検知できる、といった住まい手のバイタルデータの蓄積から「経時変化」によるリスクがわかる疾患の早期発見が可能だと考えています。さらに、疾患のリスクと「運動」「快眠」「食事」などの予防サービスとの相関関係が明らかになれば、パーソナライズされる「予防」サービスを適切なタイミングでご提案できるのではないかと考えています。

プラットフォームハウス構想は、「健康」に引き続き、人生を豊かにするための人との「つながり」、人生の可能性を見つけるための「学び」といったサービスを次々とインストールすることにより、住まい手に寄り添っていきます。

当社のグローバルビジョンは「『わが家』を世界一幸せな場所にする」。そして、プラットフォームハウス構想は、人生100年時代の幸せをアシストする家です。プラットフォームハウス構想の取り組みに、どうぞご期待ください。

